

会 議 録(1)

|                |                                                         |
|----------------|---------------------------------------------------------|
| 会議の名称          | 令和3年度 第3回飯能市立博物館協議会                                     |
| 開催日時           | 令和4年3月24日(木)午後2時00分から3時25分まで                            |
| 開催場所           | 飯能市立博物館 学習研修室                                           |
| 議長氏名           | 栗原 慶子                                                   |
| 出席委員           | 栗原 慶子 小槻 成克 中井 健一 岩崎 隆 井上 淳治<br>岸 やよい 杉田 和美 野村 正弘 馬場 憲一 |
| 欠席委員           | 平良 宣子                                                   |
| 説明者の職員         | なし                                                      |
| 傍聴者の数          | なし                                                      |
| 会議次第           | 別紙のとおり                                                  |
| 配布資料           | 別紙のとおり                                                  |
| 事務局職員<br>職 氏 名 | 博物館長 尾崎 泰弘<br>主査 引間 隆文<br>主任 長谷川 裕子                     |

## 会議録(2)

### 議事の概要(経過)・決定事項

#### 議事

(1) 令和3年度事業報告について

- ・資料1「令和3年度 主要な事業報告・予定」に基づいて説明した。

(2) 令和4年度主要な事業計画(案)について

- ・資料2「令和4年度 主要な事業計画(案)」に基づいて説明した。

(3) 博物館評価(案)について

- ・博物館事業評価表「特別展「飯能縄市」の充実」・「特別展「飯能縄市」展示図録の発行・関連講座の実施」・「他機関と連携した大河ドラマ関連事業の実施による市外からの来訪者の増加」・「収蔵資料の整理」・「小学3年生見学対応プログラムの充実」に基づき、各事業の評価を行った。

(4) その他

- 「第3期教育振興基本計画に基づく飯能市立博物館ミッションと令和4年度博物館評価対象事業対応表」に基づき、令和4年度の博物館評価対象事業について説明した。

### 会 議 録(3)

| 発言者 | 発 言 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | 午後2時00分 開会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 主査  | <p>1 開会</p> <p>皆様ご多用のところをご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は、平良委員からご欠席の連絡をいただいておりますが、飯能市立博物館条例第15条第2項に規定されています「委員の2分の1以上の出席」をいただきましたので、これより令和3年度第3回飯能市立博物館協議会を開会いたします。</p> <p>それでは開会に際しまして会長からごあいさつをお願いいたします。</p>                                                                                                                   |
| 会長  | <p>2 あいさつ</p> <p>委員及び事務局の皆様、こんにちは。現在ウクライナで戦争が起こっていて、私の戦争体験を思い出しました。私が小学1年生の時に終戦になったのですが、また戦争が起きるような世のなかになるとは思いませんでした。本日は今年度最後の協議会ということで、委員の皆様よろしくお祈いします。</p>                                                                                                                                                               |
| 主査  | <p>続きまして、博物館長よりごあいさつ申し上げます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 館長  | <p>皆様、年度末のご多用のところご参会いただき誠にありがとうございます。本日も、博物館評価を中心にご審議いただきます。よろしくお祈いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                                              |
| 主査  | <p>ありがとうございました。本日は傍聴希望者がおりませんでしたので、これより議事に入りたいと思います。</p> <p>議事の進行につきましては、条例第15条第1項の規定により、会長をお願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                  |
| 会長  | <p>3 議事</p> <p>それでは議事に入ります。では(1)令和3年度事業報告について、事務局より説明をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 館長  | <p>(1)令和3年度事業報告についてですが、既に事前に資料を配布しておりますので、説明箇所を絞り基本的に質疑のみお受けいたしたいと思います。</p> <p>特別展「飯能縄市」についてですが、博物館評価の対象事業となっておりますので、そこで詳しくご説明したいと思います。資料発送後に事業が終了したものがありません。ミニ展示「ひなまつり」ですが、12日間で1,466人の入館がありました。1日平均122.2人となります。本事業には例年、近隣の保育所や幼稚園の児童が見学にまいりますので、いつもとは違った入館状況になります。</p> <p>また、収蔵品展「地図にみる飯能の移り変わり」を3月20日(日)から開始しております。</p> |

|    |                                                                                                                                                                                          |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | それでは(1)令和3年度事業報告について、質疑のある方はお願いします。                                                                                                                                                      |
| 委員 | 資料1「令和3年度 主要な事業報告・予定」の6頁目ですが、入館者数はどのように数えているのですか。                                                                                                                                        |
| 館長 | 入口にセンサーで反応するカウンターがあり、その日の最終の数から前日の最終の数を引いて出しています。ただ、それだけだと団体の人数は正確にカウントしないので、団体は窓口で人数を報告してもらい、それを加えて集計しています。                                                                             |
| 委員 | 入館者数の大人と子どもなどの内訳は把握していますか。                                                                                                                                                               |
| 館長 | 内訳は把握していません。特別展などを実施した際にはアンケートがありますので、それから小学生、中学生、10歳代、20歳代などの割合を導き出しています。                                                                                                               |
| 会長 | 他に質疑はありますか。                                                                                                                                                                              |
| 委員 | (なしの声あり)                                                                                                                                                                                 |
| 会長 | それでは質疑を終了します。次に「(2)令和4年度主要な事業計画(案)について」を議題とします。説明をお願いします。                                                                                                                                |
| 館長 | それでは説明いたします。来年度の予算については、庁内の査定は終了しており、ほぼ別添事業計画の予算がついております。本日開催中の定例市議会本会議で令和4年度一般会計当初予算案が可決されますと正式に決定となります。事業内容は前回ご説明いたしておりますので、説明は省略させていただきます。                                            |
| 会長 | ただいまの件について質疑のある方はいますか。                                                                                                                                                                   |
| 委員 | (なしの声あり)                                                                                                                                                                                 |
| 会長 | それでは質疑を終了します。では(3)令和3年度博物館評価(試行)についてを議題といたします。説明をお願いします。                                                                                                                                 |
| 館長 | 本日は、来年度の本格実施に向けての試行ということで、後期事業と通年事業の評価をお願いしたいと思います。進め方ですが事前にお送りした評価表を基に事業ごとに説明し、委員のみなさんから評価をいただきたいと思います。なお、事業名の先頭に★がついているものは、教育委員会の重点施策となっているものです。本日いただいたご意見が「コメント」や「課題の方向性」のところに反映されます。 |

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p>それでは、「ア、特別展「飯能縄市」の充実」から始めます。</p> <p>今回の特別展は、10月17日から12月12日まで47日間の会期で7,898人の入館者があり、1日平均では168.0人でした。当該事業の目的は、飯能の町の成り立ちをふりかえり、飯能縄市の景観やまちなかに残る歴史的建造物を紹介するなどして、飯能の町の魅力をアピールすることを目的としました。その達成指標として、</p> <p>①特別展の1日平均入館者数が120人以上<br/> ②アンケートによる入館者数の満足度が80%以上<br/> ③アンケートで飯能の町の魅力を再発見した人の割合が80%以上であること、の3つとしました。</p> <p>結果として2枚目のデータカードにあるとおり、①は1日平均168.0人、アンケートから②に関しては88%からほぼ満足との回答を得、また③に関しては「街の魅力を再発見できた」と回答した人が99%でしたので、評価は「A」としました。</p> <p>なお、ここには記していませんが、新たな試みとして会期終盤の12月2日から飯能市公式YouTubeに展示解説の動画をアップいたしました。</p> |
| 会長 | では質疑をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 委員 | アンケートの人数はどれくらいの方が書いていますか？                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 館長 | 143人で、入館者数の1.6%にあたります。アンケートの記入率については、以前本協議会で低すぎるというご指摘をいただいたので、令和元年度の特別展「飯能の名宝」では監視にあたった市民学芸員に手渡しで依頼したことがあります。その時は記入率は確かに上がりましたが、逆に煩わしいという意見もいただきました。それ以後はコロナ禍となり、手渡しすること自体ができなくなりました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 委員 | アンケートはどのくらいの大きさですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 館長 | A4判1枚程度です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 委員 | グーグルホームで登録してもらえば、スマートフォンを持っている人はQRコードでアンケートに答えてもらうことができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 委員 | アンケートは紙とデジタルと両方用意したほうがよいと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 館長 | 今回の収蔵品展では、庁内のシステムを利用してQRコードからアンケートに答えてもらうことができるようになっています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 委員 | 特別展の展示解説動画の方はどれくらいの方が見えていますか？                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 館長 | 本日までで217回再生されています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | 初めてにしてはよい数字だと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 委員 | 展示図録をPDFで発行する博物館ができています。PDFと紙と両方で発行するのが良いと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 委員 | YouTubeを見せていただきましたが、職員が撮影・編集・アップしたのですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 館長 | いかにもざっくりした内容になってしまいましたが、十分な機材がなく、簡易マイクとデジタルカメラ、個人持ちの編集ソフトを使って作りました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 委員 | 個人におんぶでだっこでは良くないと思います。人事異動もあるので継続も難しくなります。私の所属する駿河台大学には動画の作成を普段からおこなっているゼミもありますので、飯能市とは包括協定を結んでいますし、授業の一環として学生たちと協力して作ることも可能だと思います。公式に大学に協力要請を出してもらえばいいと思います。西川材のイメージビデオを作ったこともあります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 会長 | 評価については如何ですか。このままでよろしいですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 委員 | (異議なしの声)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 会長 | では評価は達成率100%、評価Aといたします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 館長 | 次に2の調査研究事業、「飯能縄市展示図録の発行・関連講座の実施について」を説明いたします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 館長 | <p>今年度は研究紀要の発行がなかったため、調査研究活動の評価対象として特別展展示図録の発行を挙げました。達成指標としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①展示図録を誤りなく発行し、本市の魅力を広く発信すること</li> <li>②成果を出前講座メニューに加えてその成果を広く市民に還元すること</li> </ul> <p>としました。</p> <p>調査研究活動の成果指標は正直設定が難しいと感じました。そこで正誤表を出すことのないよう慎重に編集作業を進めましたが、結果的には11箇所の誤りが見つかり、正誤表を図録に付けるとともに、当館ホームページにアップしました。また、本展示会の成果を報告することで批判に耐えられる内容であったかを検証し、飯能縄市のことを多くの人に知ってもらうため、地方史研究協議会の3月例会で報告を行いました。②については、4月以降に出前講座のメニューに加える予定です</p> <p>図録は2月末現在で133冊販売しましたが、まだ在庫が150冊ほどあり、目標には設定しなかったものの、個人的にはもう少し展示図録が売れると良かったと思います。調査研究事業については、成果指標について、委員のみなさんからご意見を</p> |

|    |                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | いただければ幸いです。                                                                                                                                                                                                                                       |
| 委員 | 達成率が90%なのは、誤りが11箇所あったからでしょうか。「達成指標と目標値」の①で「誤りなく」、ではなく「正確に」などとした方が良いのではないですか。「誤りなく」では違和感があります。                                                                                                                                                     |
| 館長 | 誤りが11箇所あったので90%としました。                                                                                                                                                                                                                             |
| 委員 | 図録を「誤りなく」発行するのは当然だと思いますので、わざわざ「誤りなく」と入れなくてもよいのではないかですか。                                                                                                                                                                                           |
| 館長 | 正誤表を毎回出すことになり忸怩たる思いがあります。図録の発行を評価対象にする場合、次回以降「達成指標と目標値」の書き方には注意したいと思います。                                                                                                                                                                          |
| 委員 | 誤りがでてしまったからというので10%評価が下がるというのは厳しすぎるのではないですか。来館者からどのような反応があったのか、というのを指標にできないですか。                                                                                                                                                                   |
| 委員 | 調査研究事業として出すのならば、誤りがあった場合90%は高すぎます。内容に関する誤りであれば致命的ですが、展示学習会の分野としてであれば90%でもよいと思います。                                                                                                                                                                 |
| 館長 | 誤り自体は誤字や助詞などの誤りなので、評価はこのままでよろしいでしょうか。                                                                                                                                                                                                             |
| 委員 | 評価はそれでいいのですが、特別展もそうですが、判断の基となったエビデンスを合わせて提出してもらいたいです。例えば正誤表やアンケート結果などです。                                                                                                                                                                          |
| 館長 | 次回からそのようにいたします。                                                                                                                                                                                                                                   |
| 会長 | それでは、評価は案のとおりでよろしいですか。                                                                                                                                                                                                                            |
| 委員 | (異議なしの声)                                                                                                                                                                                                                                          |
| 館長 | <p>続きまして3の「他機関と連携した大河ドラマ関連事業の実施による市外からの来訪者増加への貢献」について説明いたします。</p> <p>去年は、渋沢栄一を主人公とした大河ドラマ「青天を衝け」の放映があり、飯能戦争もドラマの中に登場したことなどから、奥むさし飯能観光協会や観光・エコツーリズム推進課など観光事業を行う機関と連携してプロモーションにあたり、市外からの誘客に貢献することを達成指標としました。成果としては、</p> <p>①がプロモーション会議を8回実施したこと</p> |

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p>②は、越生町と共同で実施した「飯能・越生をめぐる平九郎スタンプラリー」を実施し、232 人がすべての地点でデジタルスタンプを入手し景品交換を行いました。そのうち 63.6%が飯能市・越生町以外からの参加者でした。</p>                                                                                                                                                                                           |
| 委員 | <p>このような観光事業に関わる連携は初めてですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 館長 | <p>初めてになります。当初は当館単独で西武鉄道株式会社に事業の提案を行いました但相手にされませんでした。しかし、観光協会が入るとうまく話が通るようになりました。博物館と観光事業は交わらない部分もありますが、横断的に連携することができました。「広報はんのう」の表紙に取り上げてもらう機会も増えたように思います。</p>                                                                                                                                             |
| 会長 | <p>それでは、評価は案のとおりでよろしいですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 委員 | <p>(異議なしの声)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 館長 | <p>続きまして 4 の「収蔵資料の整理」に入ります。収蔵資料の整理は、単に市民に提供できる資料情報が充実するという点のみならず、この作業を通して、学芸員が調査研究のきっかけをつかんだり、新たな特別展のテーマを発見する機会となるもので、毎年教育委員会の重点施策にも設定しています。逆にいいますと、実施しなくてもどこから批判をされることもなく済んでしまうような事業ですので、あえて目標を掲げ少しでも進めるよう努力しています。達成指標は、古文書が 100 点、古写真が 50 点、民具の再整理が 200 点以上といたしました。そもそもこの目標値が適当かどうかも含めて評価をいただきたく存じます。</p> |
| 委員 | <p>掲げた目標値を超えているのにも関わらず、なぜ達成率が 90%なのですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 館長 | <p>一般的に古文書整理に携わっている人からすれば、年間 100 点というのは少ないと思いますので、90%としました。</p>                                                                                                                                                                                                                                             |
| 委員 | <p>古文書整理を専属でやっているわけではなく、収蔵しているものを順番に整理しているというのであれば、この点数は決して少なくないと思います。地道な仕事を行っていると評価してよいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                          |
| 委員 | <p>古文書 100 点という数値が低いというのなら、それは目標を設定した時に修正すべきであり、この数字が協議会で認められているのであれば、評価を上げてよいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                    |
| 委員 | <p>資料といえば先ほどの YouTube 動画も資料になります。現在はボーンデジタルと行ってできた時から資料になるデジタル素材があります。これをどのように整理して</p>                                                                                                                                                                                                                      |



|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p>いくかも課題となります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 会長 | <p>それでは、評価は案を修正し 100%の A でよろしいでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 委員 | <p>(異議なしの声)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 館長 | <p>引き続きまして 5 の「小学 3 年生見学対応プログラムの充実」について説明いたします。これは新しい学習指導要領に基づき、昨年度改訂した小学 3 年生の見学プログラムを評価して完成させること、及びタブレット端末を使ったプログラムを増やすことを達成指標としました。</p> <p>しかし、今年度もまん延防止等重点措置を実施すべき地域となったことにより、市民学芸員の見学対応への参加を途中でとりやめたため、市民学芸員とともに内容を評価することができませんでした。</p> <p>タブレット端末を使ったプログラムを増やす、という点では、小学 3 年生見学用の「学習ノート」を紙媒体ではなく、タブレットで配信したものを使う学校が現れたことは、今後の飯能 GIGA スクールに対応して子どもたちの質の高い学習を支援できるきっかけになったように思われました。</p> |
| 委員 | <p>学習ノートをタブレットに配信してもらったのは私の勤務する加治小学校ですが、本校では昨年 9 月からタブレットを使っています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 委員 | <p>90%の評価というのは、市民学芸員が全日程に携わることができなかったことが理由ですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 館長 | <p>致し方ないことではありますが、達成できなかったことは確かなので 90%としました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 委員 | <p>市内で小学校は何校あるのですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 主任 | <p>12 校です。このうち南高麗小学校への出張授業は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 委員 | <p>カリキュラム上はこの冬の時期にやるしかないのですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 主任 | <p>学習指導要領に基づいて作成されている飯能市の社会科副読本では、小学 3 年生の 3 学期の授業で博物館で地域のうつりかわりの学習をすることになっています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 委員 | <p>博物館で独自にプログラムを作って実施することはできないのですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|    |                                                                                                                                                                                        |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | 私は GIGA スクールに疑問をもっています。本来子ども達の知識の定着が目的のはずが、タブレットを使用するという手段が目的になってしまっています。そうではなくてコンテンツを博物館で作り、オンラインで実施するということが大切なのではないですか。例えば資料を事前に送ってもいいかもしれません。あるいは展示室を使って先生と学芸員と一緒に授業をする、というのでもよいです。 |
| 委員 | 授業の一部を博物館が提供する、という方が先生は使いやすいのではないのでしょうか。あくまで先生の授業をサポートする、というのが良いと思います。「押し掛け女房」では使われなくなってしまいます。                                                                                         |
| 委員 | 理想はそうだと思いますが、すべての先生が社会科を得意なわけではありません。かえってお任せしてしまった方がレベルの高い授業ができる場合もあります。社会科が得意な先生のリクエストを加味して学芸員と一緒に授業を行うのが良いと思います。学芸員の言葉は小学生には難しいところがあるので、それを教員が咀嚼するという方法もあります。                        |
| 委員 | 12校ある学校のクラス数はどんな感じですか。                                                                                                                                                                 |
| 委員 | 規模が異なるため一概にはいえません。飯能市の場合は少ないと1学年数人しかいないですし、大きいところだと3クラスくらいあります。                                                                                                                        |
| 委員 | コロナ禍で子どもたちが博物館に行けなくなってしまって残念です。社会科学習でいえば、何も学芸員が学校に来て授業をするだけで終わってしまうわけではなく、あくまで単元の中の一コマに過ぎません。タブレットについても児童がその時に考えたことをまとめて班員に配信するなど、手段として十分活用されています。                                     |
| 委員 | 学芸員は指導案が書けませんし、理解することもできません。指導案のどこに注目し、目標は何かという指導案の読み解き方を知る必要があります。                                                                                                                    |
| 委員 | 先生が単元計画を立てるので、そこを博物館とすり合わせることは大切だと思います。                                                                                                                                                |
| 会長 | それでは、評価は原案のとおりでよろしいでしょうか。                                                                                                                                                              |
| 委員 | (異議なしの声)                                                                                                                                                                               |
| 会長 | 以上で、(3)の議事は終了いたしました。<br>次に(4)その他ですが、事務局から何かありますか。                                                                                                                                      |
| 館長 | 本日お手元に博物館ミッションと令和4年度の博物館評価対象事業の対応表を                                                                                                                                                    |

|    |                                                                                                                                                                          |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p>配布させていただきました。既に令和 4 年度の教育行政の重点施策は、地がベージュになっているものになりますが、既に教育委員会に提出してしまっているので、博物館評価対象事業と教育行政の重点施策については、別添表のとおりでお願いしたいと思います。このうち、分野のところの地色は、前期が桃色、後期が青色、通年が緑色としています。</p> |
| 会長 | <p>これについて何かご意見はありますか。</p>                                                                                                                                                |
| 委員 | <p>(なしの声あり)</p>                                                                                                                                                          |
| 会長 | <p>ないようですので、進行を事務局にお返しします。</p>                                                                                                                                           |
| 主査 | <p>ご審議ありがとうございました。それでは「4 その他」に移ります。事務局からはありませんが、委員の皆様から何かございますか。</p>                                                                                                     |
| 委員 | <p>4 その他<br/> 来年度の社会体験チャレンジですが、コロナ禍のため中止が決定いたしましたのでお知らせいたします。再開することができるようになりましたら、ぜひお願いします。</p>                                                                           |
| 館長 | <p>承知いたしました。社会体験チャレンジは参加する中学生のみならず、保護者にも博物館の仕事を知ってもらうよい機会と考えておりますので、ぜひ協力させていただきたいと考えています。</p>                                                                            |
| 主査 | <p>そのほかに何かございますか。</p>                                                                                                                                                    |
| 委員 | <p>(なしの声あり)</p>                                                                                                                                                          |
| 委員 | <p>それでは「4 その他」は以上といたします。</p>                                                                                                                                             |
| 主査 | <p>5 閉会<br/> 以上で、令和3年度第3回飯能市立博物館協議会を閉会いたします。本日はご審議いただきありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">午後3時25分 閉会</p>                                                      |

議事の内容、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。

令和 4 年 3 月 21 日

会長の署名

栗原 慶子